

世界での飛躍を目指して ～岡山ゆかりのアスリートの活躍～



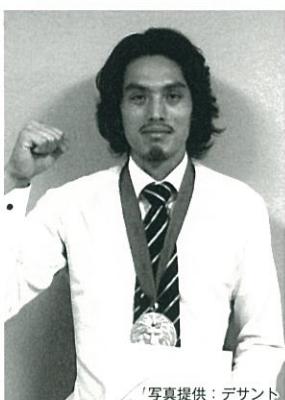
写真提供：天満屋

【マラソン】重友梨佐選手

昨夏はリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックで盛り上がりましたが、今夏も各競技の世界大会が開かれます。選手たちにとっては2020年の東京オリンピック・パラリンピックを3年後に控え、現在の力を世界の強豪相手に試し、飛躍の足がかりとするという意味でも重要な舞台となります。本県ゆかりのアスリートも各大会に出場し、熱戦を繰り広げます。

陸上の世界選手権（8月・ロンドン）には、女子マラソンの重友梨佐（しげとも・りさ）選手（天満屋）と男子400メートル障害の安部孝駿（あべ・たかし）選手（デサント）が出場します。重友選手は2012年ロンドンオリンピックの日本代表選手でしたが、78位と振るいませんでした。以降はけがなどもあり、苦しい時期を過ごしましたが、今年1月の大阪国際

女子マラソンでは、序盤で先頭から遅れたものの冷静にピッチを刻んで逆転し、2時間24分22秒で5年ぶり2度目の優勝。復活を印象づけるとともに、2大会連続の出場権を獲得しました。「因縁の地」でもあるロンドンでの快走に期待です。



写真提供：デサント

【ハーフ走】安部孝駿選手

安部選手は身長192センチの大型ハードラー。玉野光南高校時代にはインターハイと国体で優勝するなど将来を嘱望されていましたが、中京大学を卒業後、社会人になってからは故障の影響もあり、なかなか結果を残せませんでしたが、今年から活動拠点を千葉から岡山に移し、フォームの修正などを取り組んで復調。6月の日本選手権では予選で自身初の48秒台をたたき出すと、決勝でも初優勝を果たし、2大会ぶり3度目の出場を決めました。世界選手権は過去2大会で予選敗退だっただけに、決勝進出を目指します。

バレーボール女子は、ワールドグランプリ（7月～8月、世界各地）やワールドグランプリチャンピオンズカップ（9月・東京、名古屋）などが行われますが、日本代表には岡山シーガルズの宮下遥（みやした・はるか）選手のほか、就実高校卒の石井優希（いしい・ゆき）選手（久光製薬スプリングス）、倉敷市出身の荒木絵里香（あらき・えりか）選手、就実中学卒の井上愛里沙（いのうえ・ありさ）選手が登録されています。このうち、ワールドグランプリに出場する日本代表18人が発表されていますが、

宮下選手と石井選手が選ばれています。

東京岡山県人会



発行者：東京岡山県人会
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10階
岡山県東京事務所内
TEL 03-5212-9080
FAX 03-5212-9083

「日本の家芸」とある柔道の世界選手権（8月～9月、フジアリースト）に出場するのは環太平洋大学卒の梅木真美（うめき・まみ）選手（ALISOK）です。女子78キロ級でリオデジャネイロオリンピックに臨みましたが、力を発揮できずにまさかの初戦敗退。その悔しさを糧に、今年のグランプリ大会やグランドスマムといった国際大会や全日本選抜体重別選手権で優勝するなど力強さを取り戻しています。2年前の世界選手権では初出場で頂点に立つており、連覇に挑む大会となります。



写真提供：ALISOK

【柔道】梅木真美選手

「天才セッター」と称された中田久美（なかだ・くみ）監督がどのようなチームをつくり、その中でリオデジャネイロオリンピックを経験した宮下選手らがどのようなプレーを見せてくれるかが注目です。



【バレーボール】石井優希選手



【バレーボール】宮下遥選手

また、「学生のオリンピック」と呼ばれるユニアーシアード夏季大会（8月・台北）にも、柔道や競泳、体操などで岡山県出身の選手たちが出演します。

2020年東京オリンピック・パラリンピックでの活躍を目指し、世界の舞台に挑戦していく岡山県ゆかりの選手の皆さんに、精いっぱいの応援をよろしくお願ひいたします。そしてその一挙手一投足にご注目ください。

首都圏の中のおかやま

「原田直次郎と散歩のすゝめ」

はら だ なお ろう

今回、ひょんなことから明治期の洋画家・原田直次郎(1863-99)についての文章を寄稿することになり、いろいろ調べてみたところ大変、おもしろい人物だったことを知りました。その一端をみなさんと共有したいと思います。



岩倉使節団の『侍とスфинクス』の写真はあまりにも有名。
この中に原田一道も写っている。

直次郎の父・一道は備中国鴨方藩の生まれで、岩倉使節団の一員として、いち早くヨーロッパに学んだ人物でした。次男の直次郎も幼いころから漢学やフランス語など、超エリート教育を受けます。一道は役人ではありませんが、とてもレベルな人物であつたらしく、息子にも希望通りの教育を受けさせます。美術の道へ進むことを決めた直次郎は、兄で地質学者の豊吉のあとを追つて、私費でドイツに留学しました。



原田直次郎
《騎龍觀音》1890年 油彩、
キャンバス272×181 cm.
護国寺蔵
(東京国立近代美術館寄託)



さすがは東大生、「福武ホール」には目もくれず読書しながら歩いています。

このように直次郎の半生を紹介すると、ものすごく有名な画家なのだろうと思われます。しかし、原田直次郎と聞いてすぐに作品を思いだせる方は少ないでしょう。それもそのはず、早逝の上にほどんど評価されませんでした。美術界でも、1909年の「没後十周年記念遺作展覧会」から107年ぶりに開催された回顧展「原田直次郎展—西洋画は益々奨励すべし」(2016年)まで詳しく述べられていませんでした。

しかし、東京在住の皆様には東京国立近代美術館(東近美)で《騎龍觀音》(重要文化財)を見たことがある方も多いのではないでしょうか。龍に乗つて現れる觀音像が描かれたこの油絵は、東近美に展示されている大量の作品群の中でも異彩を放っています。そのため、第三回内国勧業

のように直次郎の半生を紹介すると、ものすごく有名な画家なのだろうと思われます。しかし、原田直次郎と聞いてすぐに作品を思いだせる方は少ないでしょう。それもそのはず、早逝の上にほどんど評価されませんでした。美術界でも、1909年の「没後十周年記念遺作展覧会」から107年ぶりに開催された回顧展「原田直次郎展—西洋画は益々奨励すべし」(2016年)まで詳しく述べられていませんでした。

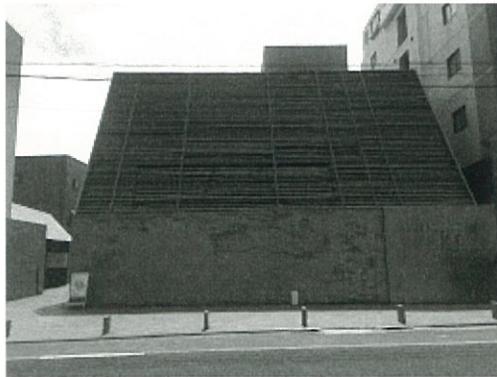
その上、体調を崩したため鐘美館での後進育成も約6年程度しか続きませんでした。いまでは建物も全く残つていませんが、今回、明治期の地図を見ながらその場所を探し出しました。当時の住所では本郷六丁目とあります。現在は本郷五丁目です。完全に民家になつていたので、詳しい住所や写真を掲載することはできませんが、東京大学赤門前にあるスドウ写真スタジオと岡本薬局の間の道を入つて、一つ目の三叉路右手、とだけ書いておきます。

鷗外と直次郎はドイツ留学時代に出会っています。鷗外の「うたかたの記」の画学生・巨勢のモデルは直次郎です。帰国後、鷗外は医学研究者として政府の要職を歴任しますが、一方の直次郎は日本画を称揚し洋画を排斥しようとする岡倉天心らと敵対したため、私的な画塾・鐘美館を経営する程度でした。

本郷キャンパスは散歩に最適です。自由に出入りできます。鐘美館があつた通りの目の前には東京大学総合研究博物館があり無料で入館できます。歴代東大教授たちの肖像画や自然科学の研究に使われた標本など、変わったものを見ることができます。岡山に関係するものでは、赤門をくぐつてすぐ右手に福武總一郎氏の支援で作られた「福武ホール」(安藤忠雄建築)があります。また、現在では鷗外よりもよく読まれる国民的小説家・夏目漱石の『三四郎』から名付けられた三四郎池もあります。ただし、この三四郎池、鬱蒼とした森の中にあるので怖いです。一時期、外来種のカメが生息しており、立ち入りが禁止されていました。覚悟して急な階段をおります。



写真スタジオと薬局のあいだの道を入りましょう。鐘美館はありませんが、なんとなく風情があります。



文京区立森鷗外記念館（団子坂から）

本郷キャンパスはとても広いキャンパスなので（とは言え、岡山大学（北海道大学に次いで全国2番目の敷地面積）よりは狭いです）、歩き疲れたら学生食堂で休憩しましょう。オススメは法文二号館の地下にある「メトロ」です。わたしの在学当時は赤門セットが380円でした。ちょっと贅沢をして銀杏セット440円を食べるのもいいでしょう。また、100円でケーキを食べることができます。きつかり100円分の味がします。

さらに元気があれば、農学部のある弥生キャンパスを本郷通りに通つて、団子坂を下りましょ。そこに2012年に開館した文京区立森鷗外記念館があります。2013年には「鷗外と画家原田直次郎～文学と美術の交響」展が開催されていました。いつかまた直次郎との関連展示も行われるのではないかと期待できますね。



文京区立森鷗外記念館（裏手から）

（執筆者）花房太一（美術批評、キュレーター）
1983年岡山県生まれ、岡山大学教育学部附属中学校、岡山県立岡山大安寺高等学校、慶應義塾大学総合政策学部卒業、東京大学大学院（文化資源学）修了。牛窓・亜細亞藝術交流祭・総合ディレクター、S-HOUSE（ユージアム・アートディレクター）。その他、108回の連続展示企画「失敗工房」、ネット番組「hanapusaTV」、飯盛希との批評家ユニット「東京不道徳批評」など、従来の美術批評家の枠にとどまらない多様な活動を開催。個人ウェブサイト：hanapusa.com

さて、なかなかよい運動になる散歩コース、もとい原田直次郎ゆかりの土地を紹介してきました。直次郎は早逝の画家でしたが、とても行動的な人物だったそうで、1909年の回顧展の際に鷗外によって出版された『原田先生記念帖』には直次郎が弓を射たり、コロッケを好んで食べたり、いたるところで写真を撮影したりしていたという愉快な話がたくさんあります。みなさんも直次郎ゆかりの土地を、直次郎のように愉快に歩いてみてはいかがでしょうか。ただし、早逝しないように注意しましょう！

首都圏でのイベント情報

開催日	名 称	内 容	場 所
7月28日(金)～29日(土)	美作国うまいものフェア	美作地域の特産品の試食販売。 蔵元の地酒を無料で飲み比べいただけます。	とっとり・おかやま新橋館 2F催事スペース
7月30日(日)	暮らすなら“ちょうどいい” 総社（そうじや）まるごと体験!フェア	移住相談、特産品グルメの販売。 ゆるきやらグランプリ全国3位のチュッピーも来場。	とっとり・おかやま新橋館 2F催事スペース
8月2日(水)～9日(水)	ビールがうまい♪ 備前焼お買い得市	「ビールが喜ぶ器」備前焼のビアマグを中心にお得な備前焼を取り揃えています。	とっとり・おかやま新橋館 1Fショップ
8月12日(土)～13日(日)	岡山野菜フェア ※原則、毎月第2・4土曜日・日曜日開催	岡山県の農産品を集めた特設コーナーを設置して、新鮮な旬の岡山野菜をお届けします。	とっとり・おかやま新橋館 1Fショップ
8月19日(土)	桜室町を楽しむ会	室町酒造のお酒に合わせた、ももてなし家 特製料理をコース形式でお楽しみいただきます。	とっとり・おかやま新橋館 2Fももてなし家
8月22日(火)・9月19日(火) 10月17日(火)・11月14日(火)	ナイター移住相談会	「仕事、子育て、住まい、病院は?」移住にまつわる 様々なご相談をお伺いします。	とっとり・おかやま新橋館 2F催事スペース
9月8日(金)～9日(土)	備中マルシェ	岡山県西部 備中地域の产品的試食、販売。	とっとり・おかやま新橋館 2F催事スペース
9月23日(土)	移住座談会	移住希望者を対象に、岡山県へ移住した 先輩移住者との座談会。	とっとり・おかやま新橋館 2F催事スペース
10月7日(土)	サッカーJ2リーグ	ファジアーノ岡山 VS ジェフユナイテッド市原・千葉	フクダ電子アリーナ (千葉県市原市)
10月14日(土)	サッカーJ2リーグ	ファジアーノ岡山 VS ホーリーホック水戸	ケーズデンキスタジアム (茨城県水戸市)
10月19日(木)～23日(月)	岡山デニムフェア	手間隙をおします生産されたデニムの展示即売会。	とっとり・おかやま新橋館 2F催事スペース
10月29日(日)	サッカーJ2リーグ	ファジアーノ岡山 VS 湘南ベルマーレ	Shonan BMW スタジアム平塚 (神奈川県平塚市)
11月4日(土)～5日(日)	ふるさといばらPRフェア	井原市の特産品の販売、観光PR。 マスコットキャラクター「でんちゅうくん」も登場。	とっとり・おかやま新橋館 2F催事スペース

※平成29年6月30日現在の情報であり、詳細は今後変更の可能性があります。

☆☆☆ 女性部だより ☆☆☆

東京岡山県人会女性部は、県人会の女性会員を中心に平成18年に発足。総会、勉強会、岡山旅行、クリスマス会・納会と、年間を通じて様々なイベントを実施しています。

去る5月28～29日、1泊2日で矢掛町、倉敷市を訪問しました。初日は矢掛町を訪問し、江戸時代の宿場町の風情が残る町並みの散策の後、飛び始めた螢の鑑賞をしました。

翌日は、倉敷市を舞台にした映画「ひるね姫」のゆかりの地を訪ねるスタンプラリーに参加。鷺羽山からの雄大な景色を鑑賞した後、江戸から明治にかけて北前船で栄え、現在は漁業の町として知られる港町の下津井で名物のタコ料理を味わいました。織維の町 岐島では岐島学生服資料館やジーンズミュージアムを訪問し、織維産業の歴史や製造工程を学び、JF岡山県漁連水産物直売所ふゅ～ちあ～では新鮮な海産物や水産加工製品のお買い物、と岡山の魅力を再発見した旅でした。

<今後の予定>勉強会

日 時：平成29年9月30日(土) 16時頃から(予定)
場 所：アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」
内 容：未定
講 師：箏曲家 砂崎知子さん
連絡先：TEL 03-5212-9080
県人会女性部事務局(岡山県東京事務所内) 岡本

平成29年5月28日～29日 (岡山旅行)



鷺羽山



岐島学生服資料館

◇◇◇ 吉備クラブ通信 ◇◇◇

吉備クラブは、岡山県出身の各界で活躍されている先輩方と若い世代の交流の場として、毎年3回開催しています。

7月10日に開催した第35回吉備クラブでは、山海嘉之氏(筑波大学大学院教授、サイバニクス研究センター長、内閣府IM-PACT PM、CYBERDYNE(株) 社長/CEO)を迎えて、「サイバニクス最前線～人とテクノロジーが共生する社会～」と題してお話をいただきました。100名を超える方々にお集まりいただき、続く交流の部でも、参加者全員がなごやかなムードのなかで交流を深めることができました。お忙しいところ、ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

次回の吉備クラブは次のとおり開催予定です。皆様、お誘いあわせの上、次回も是非お越しください。

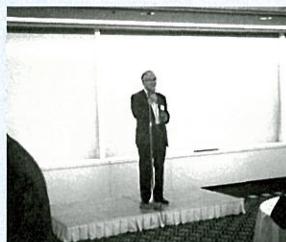
<次回の開催予定>

日 時：平成29年11月7日(火) 18時30分から20時30分
場 所：KKRホテル東京11階 孔雀
講 師：宮内庁長官 山本 信一郎 氏
演 題：未定
参加費：6,000円(交流会費含む)
連絡先：TEL 03-5212-9080
吉備クラブ事務局(岡山県東京事務所内) 神田

平成29年7月10日(第35回吉備クラブ)



講演の様子



懇談(香山世話人挨拶)

新規会員の募集

県人会では、新しい会員を随時募集しています。

岡山県出身者や勤務経験等のゆかりのある方の他、岡山県を応援する方など入会の希望がありましたら、事務局までご連絡ください。東京岡山県人会ホームページからも入会申込ができます。

年会費は2千円です。

住所等変更手続

県人会では、会員の皆様に観光、特産品等の情報提供や、会員名簿の配布などを実施しています。住所などが変わられましたら、必ず事務局までご一報ください。

メールマガジンの配信(会員以外もOK)

ふるさと岡山に関するイベントの情報等を配信しています。
登録(変更)を希望される方は、①氏名②住所③電話番号
④E-mailアドレスを、メールまたはファックスで事務局までお知らせください。

連絡先

〒102-10093 東京都千代田区平河町2-16-3
都道府県会館10階 岡山県東京事務所内 東京岡山県人会事務局
TEL: 03-5212-9080 FAX: 03-5212-9083
Eメール: tokenjinkai@pref.okayama.jp

平成29年度 東京岡山県人会総会 岡山県人の集い

● 日時 / 平成29年9月1日(金)
18:00～20:00

● 会費 / 8,000円

● 場所 / ザ・キャピトルホテル東急
1階大宴会場「鳳凰」

東京都千代田区永田町2-110-3
TEL 03-3503-10109
国会議事堂前駅・溜池山王駅 6番出口 地下直結

事務局からのお知らせ